

県政を
身近に

あらい絹世の磯っ子レポート

県議会議員

地震災害対策推進条例の制定に向けて

神奈川県では、昨年の東日本大震災の教訓を基に、地震災害対策に係る課題の検証と今後の対策について検討を行い、平成24年4月に「神奈川県地域防災計画」を修正しました。

この検討の中で、県民や事業者の「自助」、「共助」による主体的な取組の重要性が再認識されたことから、神奈川県地域防災計画に位置づけた対策を推進していくため、地震災害対策の基本的事項を条例として制定することとし、条例化に向け取り組んでいます。地震災害対策は減災の考え方に基づき実施され、神奈川県の自然的・社会的条件を考慮するとともに、男女双方の視点や、高齢者・障害者・乳幼児などの災害時要援護者など多様な視点に配慮し実施することが条例の基本理念でうたわれています。

条例の目的

地震災害から県民の生命、身体及び財産を守るため、地震災害対策について、県、県民及び事業者の責務を明らかにし、地震災害対策に関する基本的な事項を定めることにより、県、県民、事業者が協働して取組を進め、県民が安全で安心して暮らすことができる地震災害に強い社会の実現をめざす。

基本的な対策

1. 地震災害に強い街づくりの推進
2. 地震防災に関する知識の普及
3. 地震災害対策に係る物資、資機材等の整備
4. 自主防災活動及びボランティア活動の充実
5. 防災訓練の実施
6. 避難対策
7. 津波対策
8. 災害応急対策
9. 帰宅困難者対策
10. 復旧及び復興対策

責務

- 県の責務 : ●地震災害対策の総合的、計画的な推進や市町村間の連携／●市町村間の連携、他都道府県等との連携体制整備／●基本理念に基づく地域防災計画の策定、推進と進行管理など
- 県民の責務 : ●自らによる地震災害対策の実施／●地域における相互の連携・協力／●県、市町村、自主防災組織等への協力
- 事業者の責務 : ●従業員、来所者、地域住民の安全確保／●事業継続の体制整備／●県、市町村、自主防災組織等への協力

あらい絹世プロフィール



- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 厚生常任委員
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 社会問題対策特別委員
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走

日帰り旅行のご案内

— 新東名高速を走って、人気の「資生堂アートハウス」へ —

○ 日にち：10月21日（日）

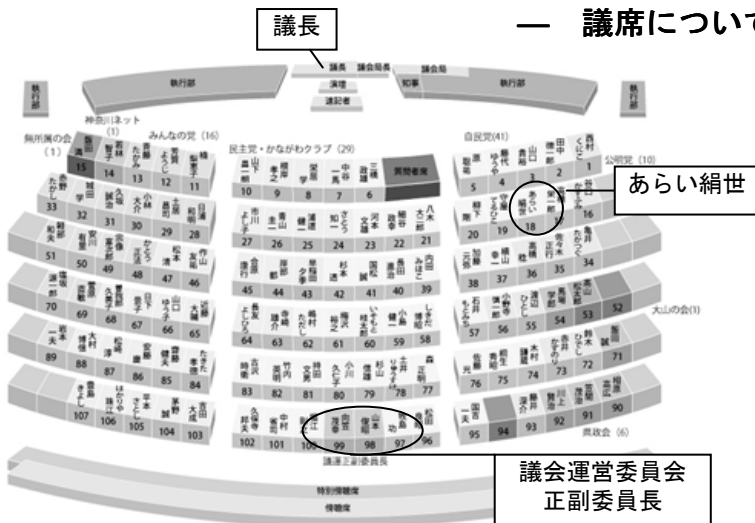
○ 旅費：7,500円

磯子区内各地発 (7:00 発)	→	新東名高速道路	→	駿河湾沼津 SA でお買物
観光 (花咲乃庄/掛川市)	→	昼食 (さかな屋)	→	観光 (資生堂アートハウス・ 企業資料館)
東名高速道路	→	磯子区内各地着 (19:15 着)		

問い合わせ先：あらい絹世後援会事務所/堀川 TEL：751-5250

議会あれ？これ？

— 議席について —



県議会での議席は党ごとに固まっています。党の中では、期数順(期数の少ない方が前列)となり、同期の中では年齢が若い順となっています。1期目で最年少の議員が党の中で一番右側最前列に座ることとなります。党を離党した場合などは、議席の移動が行われます。

また、議会運営委員会の委員長・副委員長は議場入口が議席となります。

次回の お題は 「秋」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みは FAX で (締め切りは9月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集



先月のお題は「虫」
沢山のご投稿有り難う
ございます

秋の夜に
元気に鳴く
腹の虫(西町さん)

ビアガーデン
おまけつきだよ
虫の声(浜さん)

虫かごが
入居まっ
空きやなの(Tiiさん)

秋の声
出番を待たせる
越帯夜(笹塚さん)